



100億企業 創出

経営者ネットワーク

～成長の壁を突破するイノベーションと稼ぐための知財経営～

リアル会場
申込締切
9.18(金)
13:59まで

オンライン
申込締切
11.13(金)
13:59まで

11.20 [金]

開場時間 **13:00**

13:30～18:00

※時間は変更となる可能性がございます。変更の場合には随時ご連絡いたします

参加費
無料

本気で100億企業を目指す経営者の皆様へ

経営者ネットワークは、地域や業種は異なっても、100億実現という同じ志を持ち、同じ課題に直面する経営者が集います。何かを成し遂げた経営者からの活きた経験、少し失敗してしまった経営者の教訓など、お互いの経験を共有しあうことで成長に向けたヒントと仲間を得る場です。

今回は、多くの経営者からのリクエストを踏まえ、「イノベーションと知財戦略」をテーマに、100億企業の実現に向けた新たな視点や実践事例、経営のヒントをお届けします。

内容

第1部 講演 & パネルディスカッション 13:30～15:45

リアル会場 + オンライン配信

● 基調講演

登壇者：弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー・弁護士 鮫島 正洋氏

● パネルディスカッション「成長の壁を突破するイノベーションと稼ぐための知財経営」

登壇者：

弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー・弁護士 鮫島 正洋氏

株式会社西部技研 代表取締役社長執行役員 隈 扶三郎氏

株式会社愛研化工機 代表取締役社長 岩田 佳大氏

ANALYZER株式会社 代表取締役社長兼COO 江崎 泰史氏

中小企業庁 経営支援部長 山崎 琢矢

モデレーター：中小企業庁 参事官 赤松 寛明

第2部 経営者ネットワーク及び交流会 16:00～18:00

リアル会場のみ

● 経営者同士のグループディスカッション

● 交流会

参加者

リアル会場参加（抽選形式）：

● 「100億宣言」企業の経営者・経営幹部

オンライン参加：

● 「100億宣言」企業、今後宣言を検討されている企業、支援機関、金融機関等

※ リアル参加（50名程度を想定）は、ご応募いただいた方の中から抽選の上、10月上旬頃に当落結果をメールにてご連絡いたします。（1社・1グループにつき1名までのご参加となります）

会場

大名カンファレンス

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目6-50
福岡大名ガーデンシティ・タワー3・4階



参加のお申し込みは
こちらから



主催

経済産業省、九州経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構



PANELIST



鯨島 正洋 氏

弁護士法人内田・鯨島法律事務所
代表パートナー・弁護士

1985年に藤倉電線（現・フジクラ）へ入社し、技術開発に従事。その後、日本IBMで知的財産マネジメントを担当し、弁理士・弁護士資格を取得。2004年に内田・鯨島法律事務所を設立し、技術・知財分野を専門とする「技術法務」の第一人者として活躍する。

中小企業やスタートアップの知財戦略支援、オープンイノベーションの推進に取り組み、経営と知財を結び付ける実践的な支援で多くの企業の成長を後押ししている。『下町ロケット』に登場する神谷弁護士のモデルとしても知られ、日本のイノベーション創出と知財経営の普及を牽引している。



隈 扶三郎氏

株式会社西部技研
代表取締役社長執行役員

1987年に(株)西部技研へ入社。米国ニチメン(株)への出向を経て、2002年に代表取締役社長に就任。

独自のハニカム技術を強みに、半導体や車載用電池工場向けの特殊空気処理装置で事業を拡大し、欧米・アジアを中心にグローバル展開を推進。研究開発拠点の整備や、継続的な技術投資、国内外240件超の特許を基盤に事業領域を広げ、2023年には東京証券取引所スタンダード市場への上場を実現。技術力を競争力へと結び付ける経営で、2030年にグループ連結売上550億円を目指す。



岩田 佳大 氏

株式会社愛研化工機
代表取締役社長



同業界の排水処理メーカーを経て、2009年に株式会社愛研化工機へ入社。2022年、2代目社長に就任した。

独自技術と知財を強みに、環境・エネルギー分野で新たな価値創出に挑戦してきた。知財を競争力の源泉と位置付け、ライセンスビジネスと独自技術の戦略的な保護・活用を通じて国内外での事業拡大を推進している。事業立ち上げ時から各分野の専門家の知見を積極的に取り入れながら経営基盤を構築。環境課題の解決と事業成長の両立を目指し、グローバル市場での競争力強化に取り組んでいる。



江崎 泰史 氏

ANALYZER株式会社
代表取締役社長兼COO

精密部品メーカーのシグマ株式会社にて、2000年から産業技術総合研究所と共同でレーザー傷検査装置の開発に着手。長年培った独自技術を基盤に、2022年10月にANALYZER株式会社を設立した。現在、世界11カ国・110社超・500台以上の導入実績を有し、日本の主要自動車メーカーをはじめ海外の大手自動車メーカーにも採用が拡大している。特許や標準化活動、産総研・大学・AIスタートアップとの連携を通じて技術革新を進め、製造業の品質保証と生産性向上を支えるグローバルニッチトップ企業として成長を続けている。